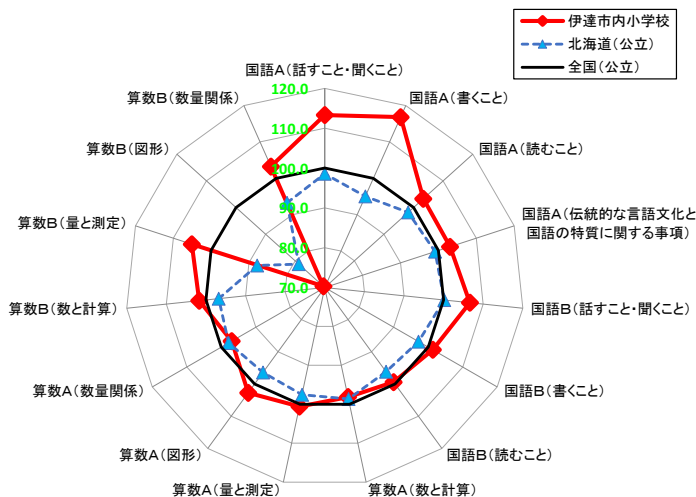


■伊達市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:259人)

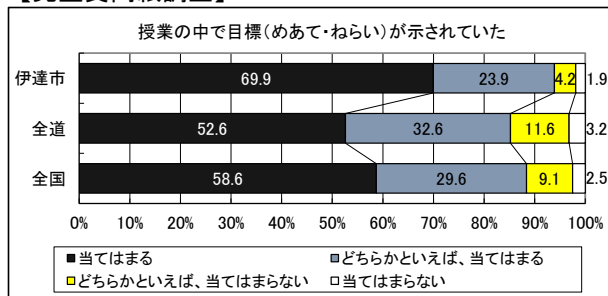
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものです。
※すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

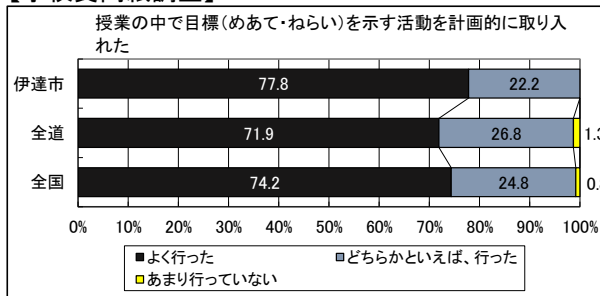
※伊達市内小学校の状況等については、天候の影響により後日実施した9校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 算数Aでは、「図形」が他の領域より高くなっている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」が他の領域より高くなっている。 <p>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、教師が授業の中で目標を提示したことにより、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組み、学力向上が図られたと考えられる。 ○ 市独自の学力テストを実施し、その結果に基づき、授業や指導法の工夫改善を行ったことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【伊達市の学力向上策】

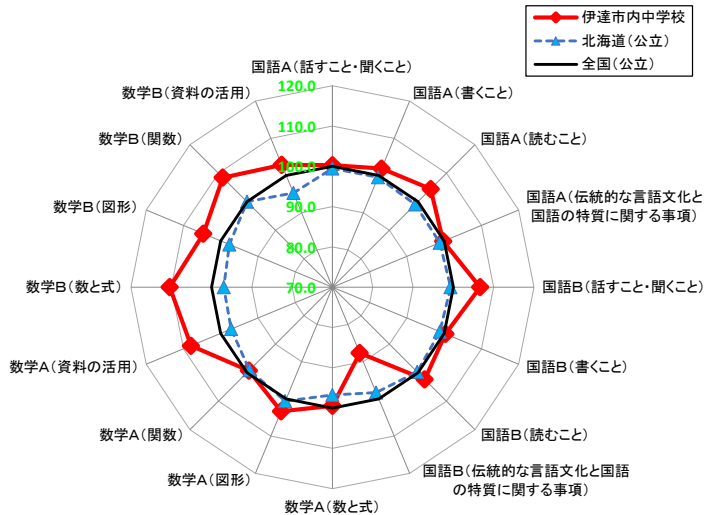
- ◎ 市独自の学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校指定による公開研究会の実施

■伊達市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:273人)

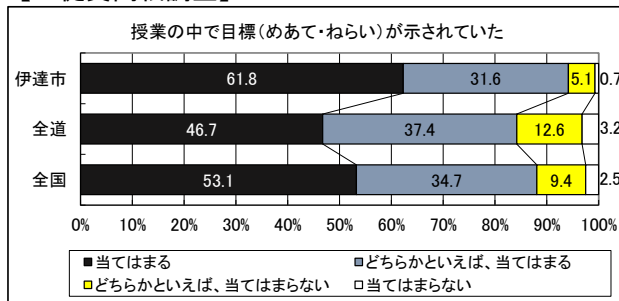
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものです。
※すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

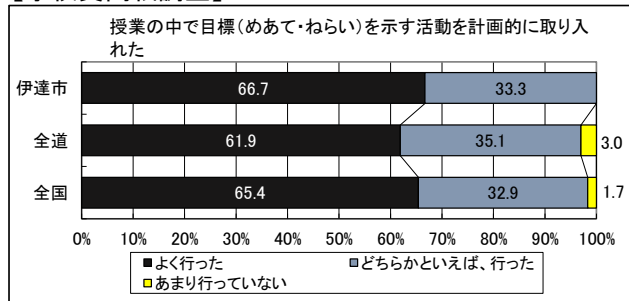
※伊達市内中学校の状況等については、天候の影響により後日実施した3校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」が他の領域より高くなっている。 ○ 数学Bでは、「数と式」、「関数」が他の領域より高くなっている。 <p>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、教師が授業の中で目標を提示したことや、振り返る活動を位置付けたことにより、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組み、学力向上が図られたと考えられる。 ○ 市独自の学力テストを実施し、その結果に基づき、授業や指導法の工夫改善を行ったことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【伊達市の学力向上策】

- ◎ 市独自の学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校指定による公開研究会の実施